



Photo:Ryosuke Shiina

社会福祉法人 清峰会

# 障がい者福祉事業

## 障害者支援施設 さざなみ学園

東京都委託施設

住所 〒961-8061 福島県西白河郡西郷村  
大字小田倉字大清水389-5

TEL 0248-25-1881 FAX 0248-25-4362

- 事業内容
- ・施設入所支援 (定員80名)
  - ・生活介護 (定員80名)
  - ・短期入所 (定員 2名)
  - ・グループホーム(定員 4名)



事業開始年月日 1985年(昭和60年)4月1日



さざなみ学園全景



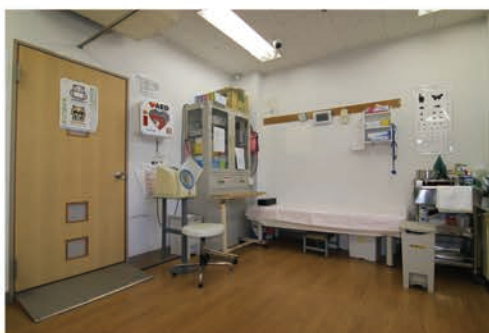
さざなみ学園正面



グループホーム 茗荷寮



明るい食堂



医務室



創作班の作品

## 目黒区発達障害支援拠点 ぼると

目黒区委託事業

住所 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目24-30

TEL 03-6412-7151 FAX 03-3760-0521

事業内容 ・相談支援



相談室



館内見取り図



事業開始年月日 2018年(平成30年)4月1日

## 福祉プラザ台東清峰会

住所 〒111-0022 東京都台東区清川二丁目14-7

TEL 03-5824-5630 FAX 03-5824-5631

### 事業内容

- ・特別養護老人ホーム 浅草ほうらい(定員130名)  
短期入所(定員30名)
- ・デイサービスセンター 浅草ほうらい  
通所介護(定員30名)  
認知症対応型通所介護(定員10名)
- ・ほうらい地域包括支援センター
- ・ほうらい子育てサポートセンター
- ・障害者支援施設 浅草ほうらい  
施設入所支援(定員30名)  
生活介護(定員80名)  
短期入所(定員10名)
- ・障害者相談支援センター 障害者虐待防止センター
- ・就労継続支援B型 おあしす(別棟)(定員20名)
- ・障害者共同生活援助 柳北ほうらい(別棟)(定員6名・4名)



事業開始年月日 2010年(平成22年)6月1日



エントランス



子育てサポートセンター



特別養護老人ホーム パントリー



デイサービスセンター



障害者支援施設 パントリー



屋上



障害者グループホーム(柳北)



障害者グループホーム(今戸)



障害者就労継続支援B型

## 特別養護老人ホーム小峰苑

住所 〒961-0024 福島県白河市新夏梨1-2

TEL 0248-31-2222 FAX 0248-31-2227

### 事業内容

- ・ 特別養護老人ホーム小峰苑 (定員80名)
- ・ 老人短期入所事業 (定員20名)
- ・ デイサービスセンター小峰苑  
通所介護(定員40名)
- ・ 軽費老人ホーム(ケアハウス) なつなし  
(定員30名)
- ・ 居宅介護支援事業所



事業開始年月日 1999年(平成11年)11月1日



正面玄関



デイサービス車両



ケアハウス 食堂

## 法人設立年表

- 1984年(昭和59年) 厚生省より社会福祉事業法による社会福祉法人の設立認可を受ける。  
本部を福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大清水389-5に開設する。
- 1985年(昭和60年) 障害者支援施設「さざなみ学園」を開園する。
- 1992年(平成4年) 共同生活援助(GH)「茗荷寮」を西郷村内に開設する。
- 1999年(平成11年) 在宅介護支援センター小峰苑の事業を白河市内にて開始する。
- 1999年(平成11年) 特別養護老人ホーム小峰苑、短期入所施設、ケアハウスなつなし、  
デイサービスセンター小峰苑B型、E型を開設する。
- 2005年(平成17年) ユニット型小規模特別養護老人ホームを開所する。
- 2010年(平成22年) 福祉プラザ台東清峰会の事業を東京都台東区にて開始する。
  - ・ 特別養護老人ホーム浅草ほうらい
  - ・ 障害者支援施設浅草ほうらい
  - ・ ほうらい子育てサポートセンター
- 2011年(平成23年) 共同生活援助(GH)「柳北ほうらい」を開所する。
- 2013年(平成25年) 就労継続支援B型事業を開始する。
- 2013年(平成25年) 共同生活援助(GH)「今戸ほうらい」を開所する。
- 2018年(平成30年) 目黒区発達障害支援拠点「ぼると」を東京都目黒区から委託を受ける。

# 社会福祉法人 清峰会 基本理念

- 利用者の権利を守り、地域の中でその人らしく安らかな生活が送れるように支援する。
- 利用者とその家族を尊重し、自立への援助を行い、最後まで共に歩む。
- 会計・財務を正確に管理し、適正な財務報告を行い、健全な運営を行う。

## 法人設立の趣旨

障害の有無や年齢に関わらず、誰もが個人の尊厳を保持しつつ、家庭や地域社会において安心して暮らせることを願っています。しかし、現在のような核家族化や女性の就労参加など、家族構成や社会構造の変化に伴い、養護者や生活空間の問題等で家族や地域の一員として安定した生活を保ていけなくなり、さらに本人だけではなく家族の生活も大きな犠牲を強いられることがあります。

個人では自立した生活を送ることが困難で社会的な支援を必要とする人たちが、安心して居心地の良い、楽しく自立した生活を送れる場として、多様な福祉サービス(障害者関連事業所、高齢者関連事業所、子育て関連事業所)を総合的に提供し、それぞれの能力を最大限に尊重し個性にあった援護を行うとともに、地域における社会福祉推進に寄与するため「社会福祉法人 清峰会」を設立するものであります。

## 名称の由来

### 清峰会

立地する場所が西郷村大清水であり、また近接した白河市には往時の小峰城がある。その土地に関連する大清水の「清」と小峰城の「峰」をいただき「清峰会」(せいほうかい)と決定した。

### さざなみ学園

立地場所の福島県西郷村に流れる黒川の清流から、その流れを表現する『さざなみ』をとった。また、利用者と職員がこの清い流れのように共に生活していけるようにとの願いを込めてこの名称に決定した。

### 小峰苑

白河市「広報白河」にて施設名称の公募を行い、多数の応募の中から選考。

特別養護老人ホームの名称は、市のシンボル「小峰城」から「小峰」をいただき、市民の高齢者福祉の拠点となれるよう『小峰苑』とした。

ケアハウスの名称は、地域に根ざした在宅生活を送れるようにとの思いを込め、建設地地名の「夏梨」をひらがなとし『なつなし』とした。

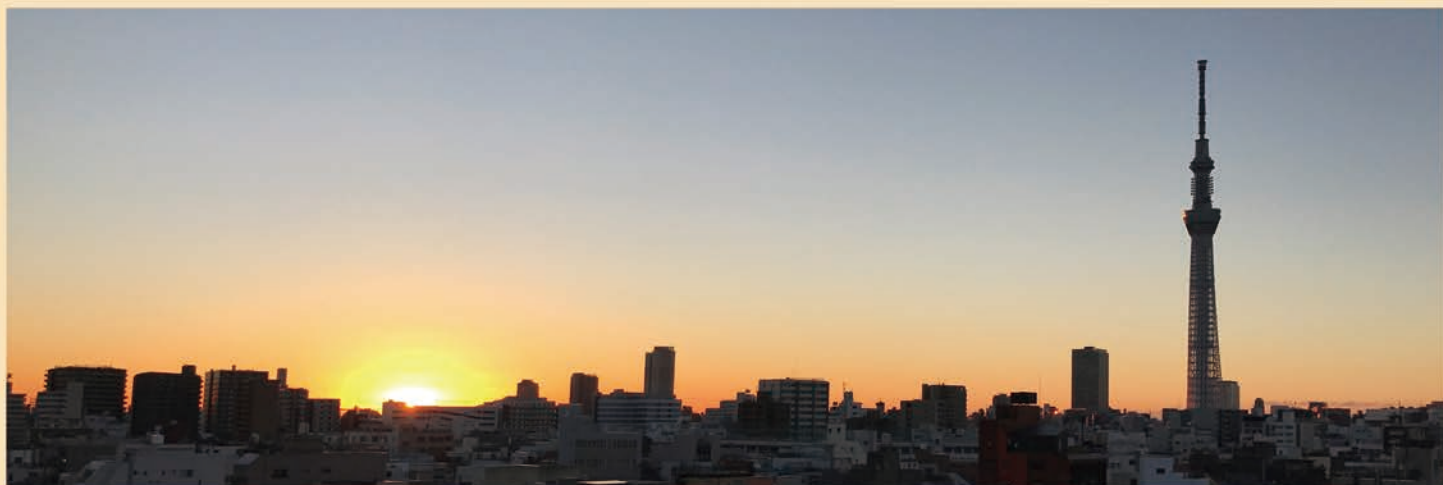
### 浅草ほうらい

台東区、地元浅草一町会と協議を重ね、地元町会より「浅草」をいただく。また、建設地が「蓬萊中学校跡地」であることから「ほうらい」をいただき、地域に愛され、この地域の福祉拠点となれるよう「浅草ほうらい」と決定した。



清峰会 名称の由来となった小峰城

小峰城の名は14世紀、南北朝時代には出てきます。江戸時代初期に現在の地に築城されました。1868年幕末戊辰戦争で落城、焼失しました。1991年に再建されました。2011年東日本を襲った震災で石垣が10か所崩壊しました。2019年3月修復が完了しました。



福祉プラザ台東清峰会から見た夜明け

福祉プラザ台東清峰会が開設したのは2010年です。東京スカイツリーはまだ工事中でした。2012年完成し屋上や居室からの風景に彩を添えてくれます。

社会福祉法人 **清峰会** 法人本部

〒961-8061

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大清水389-5

TEL 0248-25-1881 FAX 0248-25-4362